

苅田町青少年育成町民会議だより



すこやか

編集・発行／苅田町青少年育成町民会議総務部会
(☎434-1111 内線390)
協力/苅田町企画課広報広聴係

No.16. 1995年(平成7年)3月25日



がくせいじめい、町民会議





松下さんが優秀賞

社明作文全国コンテスト

社会を明るくする運動の一環として実施された社明作文コンテストで、苅田中3年の松下智子さんが、全国からの応募総数12,653点の中から、優秀賞（全国保護婦人連盟会長賞）を受賞しました。以下、受賞作品をご紹介します。

人間として

松下 智子

（苅田中学校3年）

人間の強さ、それを見つけようとした時、同時に人間の弱さも見えてくる。シンナー、覚せい剤そして非行、これらは人間の弱さをかくすためのいわば道具にしかすぎない。弱い部分をさらけだしても自分をかくしてしまわない人間、その人達の生き方はすばらしく輝いている。

そしてその人達こそ本当に強い人間なのではないのだろうか。私が中学二年生の時、母が、「今日、電話をかけよう」としたらね、全然知らん若い男の子が話しかけてきたんよ、その子は昔シンナー吸つとったみたいですね。中毒になつたんやうね、脳の方にまで障害がきてしまつとつたんよ。」と言つた。私は、勝手に自分がシンナーを吸つてそんな風になつてしまつたその人が悪いと思い、何も考えずにそれを、そのまま口に出した。

「自分が勝手にシンナー吸つてそんなんなつたんやけ自業自得よ。」

母は人様に迷惑をかけることや、誤った行為をする事をもの

すごく嫌う人だから「そうよね」というと思つた。が、違つた。母はすごく哀しい顔をしてこう言つた。

「そんなこと言うもんやないよ、その人が何故そうしたのかといふことも分からんのに、人のことを非難するもんやないよ。私はビックとした。たしかに母の言う通りかもしだれない。私はその男の人人が何故シンナーを吸つてしまつたのか、その人をそこまで追い込んでしまつた原因が何かさえ知らない。それなのに、私にその人のことを非難する権利があるだろうか。あるわけがないのである。苦しく辛い思いをしてきたのかも知れない。生きる意味さえも見失つたかもしれない。耐えられなくなり、シンナーに手を出してしまつたのかもしれないのだ。何

も考へずに「自業自得だ」とその人のことを悪く言うような私なんかには、その人を非難する

権利はないのである。

私の友人が今年になつて急に

生活態度が変わつた。靴を踏み

つけてはき「髪の毛染めてみたい」等と言ひだした。私と母は、一生懸命にその子に、どうにかもとの明るい子にもどつてもらおうと思ひ、三人で散々話し合つた。結局その子は、髪も染めず今でも私の友達でいる。その友人が少し前に私に言つた言葉があつた。

「私は智ちゃんが友達でよかつた。友達でおつてくれてありがとう。」

それを聞いた時には、その言葉にどういう意味がふくまれているのか分からなかつた。しかし、今になって考えてみると、あれは友人が私にあてたサインだったのかもしだれない。友人が私に送つた助けてのサインだつたのかもしだれないのだ。後で開いた話によると、やはり友人は自分の友達関係で悩んでいたということだった。私はもう少し早く話聞いてあげればよかったと心から後悔した。

非行に走るということは何か

から逃げ出すという行為ではな

く、前に進めずに立ち止まると

いう行為だとと思う。立ち止まつてのサインそれを見逃さないことが先決である。少しでも心の病んだ人間をつくりあげてしまふ前にまず、その原因となる身近な人間の小さな変化、助け

の弱さばかりを責めるのではなくため、他人に対する思いやりの気持ちを忘れてはならないのだ。そういう小さな心遣いが、これから先の未来を大きく変えることになりうるんだと思う。

優しい気持ちで相手を思う。

強い心で相手を守る。これから

の未来のために、今を生きる人

間に進めず立ち止まつている

その子の弱さばかりを責めるの

ではなく、それよりももつとそ

の時その子に対して周囲の人間の態度がどうであったかという

ことを第一に考える必要がある

のではないだろうか。立ち止まつているその子に対して「と

もに行こう」と手をさしのべ、

歩幅をあわせて歩んで来たのか。

そんなことが最も大切なのだと

いうことを考えなければならない

のだ。そうした時に第一に考

えなければならないことが、今

自分がどうであるかということ

である。今、周りの人間に対し

て自分の態度がどうであるか、

優しい気持ちで接しているかど

うか、自分の身の周りに心の病

んだ者がいないのかなど、様々

なことに気を遣つて生きていか

ねばならない。そしてそんな温

かい思いやりの中で自分が生か

されているんだとも思われてはならないのだ。

非行防止・シンナー防止を唱

える前にまず、その原因となる

身近な人間の小さな変化、助け

の弱さばかりを責めるのではなくため、他人に対する思い

やりの気持ちを忘れてはならないのだ。そういう小さな心遣いが、これから先の未来を大きく変

えることになりうるんだと思う。

優しい気持ちで相手を思う。

強い心で相手を守る。これから

の未来のために、今を生きる人

非行のピークは15歳

京都・行橋地区の青少年非行概況

このほど、行橋警察署より平成6年の青少年の非行に関する概況が発表されました。それによると、不良行為少年が昨年に比べ急増しています。また、中学生の非行が全体の約半数を占め、年齢では15歳がピークです。

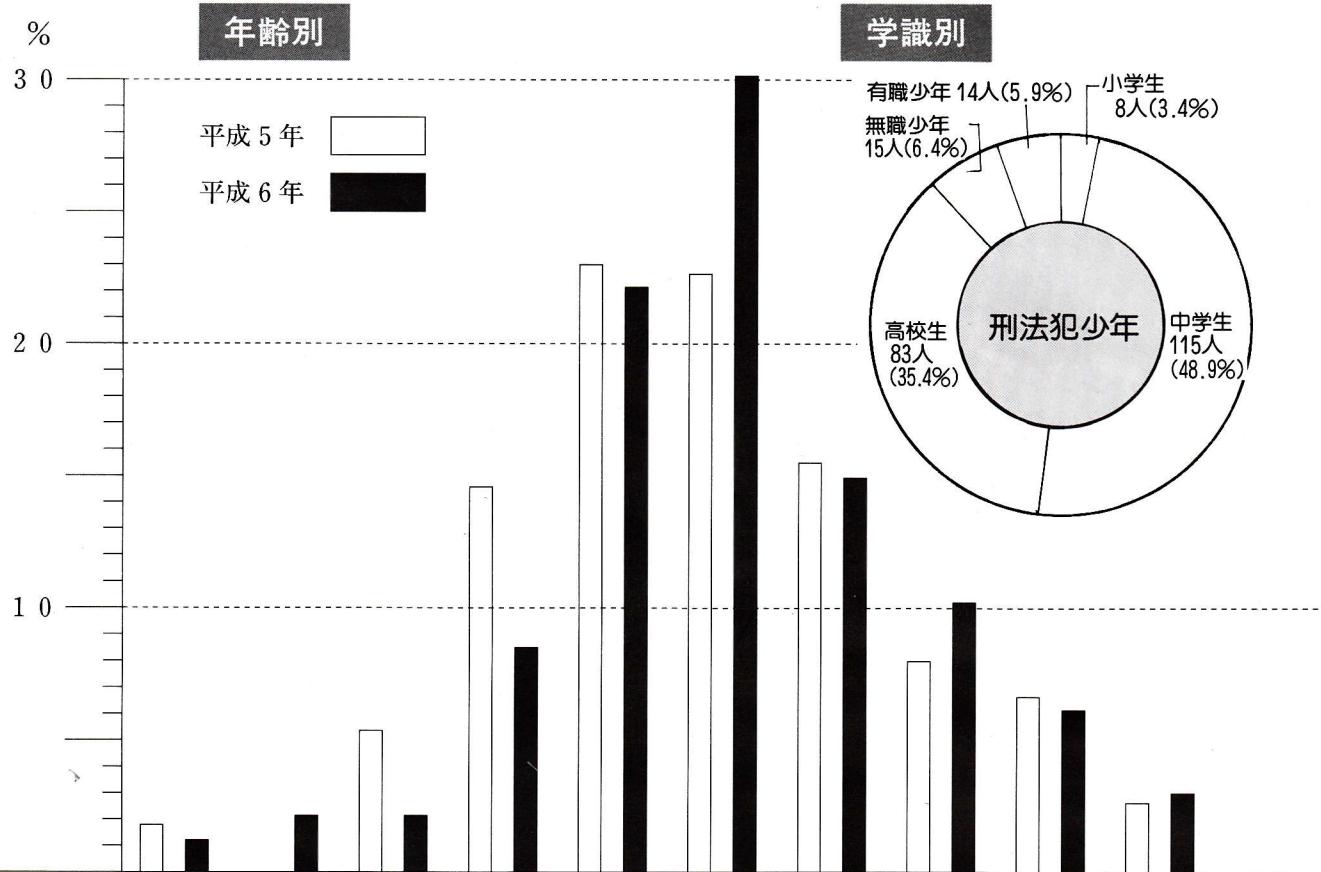
(単位：人)

区分 年別	非 行 少 年			不良行為少年	計
	刑 法 犯	特 別 法 犯	ぐ 犯		
平成4年	216 (24)	45 (14)	1 (0)	902 (159)	1164 (197)
平成5年	226 (37)	48 (21)	3 (1)	758 (109)	1035 (168)
平成6年	235 (42)	18 (5)	0 (0)	1130 (205)	1383 (252)

※()内は女子を内数で示す。

不良行為の内訳

行為 年別	喫煙	深夜 徘徊	怠学	不良 交友	暴走 行為	薬物 乱用	不健全 娯 樂	飲酒	その他	計
	平成4年	430	295	30	16	29	73	7	15	
平成5年	356	246	47	29	16	41	5	9	9	758
平成6年	515	397	58	38	24	39	8	32	19	1130



年齢 年別	10歳 以 下	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	計
	年齢	平成5年	平成6年	年齢	平成5年	平成6年	年齢	平成5年	平成6年	年齢	平成5年
平成5年	4 1.8%	0 0%	12 5.3%	33 14.6%	52 23.0%	51 22.6%	35 15.5%	18 8.0%	15 6.6%	6 2.6%	226
平成6年	3 1.2%	5 2.1%	5 2.1%	20 8.5%	52 22.1%	72 30.2%	35 14.9%	24 10.2%	12 5.1%	7 3.0%	235

紙谷さんが県知事賞 苅田町から23人が入賞

健全育成ポスターコンクール

福岡県子ども会連合会主催による健全育成ポスターコンクールに、町内の各小中学校を通じて募集したところ、多数の応募がありました。

県の選考の結果、苅田町より次の23人の方が入賞しました。(敬称略)

★福岡県知事賞

紙谷 寛美(新津中1年)

★福岡県教育委員会賞

神 幸希(与原小3年)

★銀賞

平元 文由(新津中3年)

平元 明美(新津中1年)

★銅賞

前田 恵美(新津中1年)

野口 智史(新津中3年)

原岡 愛美(南原小5年)

★佳作

田中 信介(新津中3年)

川端 鮎子(新津中2年)

松蔭 美保(新津中2年)

徳永 信之(新津中1年)

岩岡 陽子(苅田中3年)

西川 正芳(新津中1年)

三溝 幸希(苅田中2年)

市来 良子(新津中3年)

江川 雅子(新津中2年)

花田 由薰(新津中2年)

村上 史浩(新津中2年)

田上 美和(新津中2年)

中村 真紀(苅田中2年)

毛利 博美(新津中2年)

都留 あけみ(新津中3年)

山本 美恵(新津中3年)

※以上の方は、3月29日に県立社会教育センターで表彰されます。

自転車反射板を配布

町民会議では、自転車の夜間走行の際の危険防止のため、自転車に取り付ける反射板を製作しました。中央公民館、小波瀬コミュニティセンター、北公民館、西部公民館の窓口においてありますので、ご自由にお取りください。(数に限りがありますので、なくなった場合はご容赦ください)

第3日曜日は「家庭の日」

青少年相談

Q

Q&A

A

①いじめの状況について

文部省では、平成5年度の公立小・中・高等学校における「いじめ」の状況について、平成6年12月に調査の結果を発表しました。それによると、

●いじめの発生

は、小学校においては約11%、

中学校において

は約32%、高等

学校においては約24%の学校でみられました。

●いじめの発生学校数、発生件数については、前年度と比べ、

小・中学校が減少し、高等学校では増加しています。

●全小・中・高等学校を通じた1校当たりの発生件数は、0・

学校における「いじめ」が大きな社会問題となっていますが、「いじめ」の状況はどうなっているのでしょうか。

が、中・高等学校となるにつれて男子の占める割合が高くなっています。

②家庭で気をつけること

平成6年12月9日、文部省の「いじめ対策緊急会議」が緊急アピールを発表しました。その中

で次のように述べています。

6件となっています。

●いじめの発生件数を学年別にみると、小学校から学年が進むにつれて多くなり、中学1年生で最も多くなっています。その後は、学年が進むにつれて減少しています。

●男女別の比較では、小学校では男女の差はありません

で最も多くなっています。その後は、学年が進むにつれて減少しています。

●男女別の比較では、小学校では男女の差はありません

で最も多くなっています。その後は、学年が進むにつれて減少しています。

●男女別の比較では、小学校では男女の差はありません

で最も多くなっています。その後は、学年が進むにつれて減少しています。

「いじめ」について

は、去る2月16日、

「いじめ」の問題につ

いて話し合いました

が、愛知県の中学生

が、愛知県の中学生

としてとらえ、家庭教育のあり

方を、それぞれの家庭で考え直

し、「いじめ」をなくすよう努力

すること」をちかいました。

436-1152
イイコニ

青少年教育相談室

(三原文化会館内)

悩んでいないで気軽にダイヤル

教育委員会では、青少年の健全な育成をと「青少年教育相談室」を開設しています。ご利用ください。

勉強や進路、友達、家庭や親子関係、子どもの変化、しつけなどの問題解決への手助けのために、まずは気軽にダイヤルしてください。秘密は固く守ります。

●相談日時 毎週月・水・木・金曜 午前9時～午後4時30分

※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。

※祝祭日は除きます。